

# Photoshopクリエイター能力認定試験

## スタンダード

Sample パターン  
(Ver.CS、CS2、CS3、CS4、CS5、CS6 対応版)

### 第 2 部 実践問題 問題冊子

【制限時間 90 分】

#### 注意事項

- “PSスタンダード××××”フォルダ内に“第2部実践問題”フォルダが収録されていることを確認してください。
- 指示があるまで問題冊子およびファイルを開いてはいけません。
- 試験終了後、問題冊子を回収します。

受験会場	
受験番号	
氏 名	

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。  
なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。

サーティファイ  
ソフトウェア活用能力認定委員会

### ＜問題文の表記方法＞

本試験内で提示される問題文の表記方法は、原則下記に従います。ただし、出題の内容や解答に関連する部分で、一部原則よりはずれることがあります。

- 1 フォントの表記：フォントの使用指示が OS によって異なる場合は、『MS ゴシック（Mac：Osaka）』のように Windows 対応表記を先に記載し、次に（ ）を付けて Macintosh 対応表記を記載します。
- 2 ファイル名は“ ”でくくり、“問題.psd”のように表記します。
- 3 フォルダ名、ファイル名の大文字、小文字はシステムの設定により表示が異なる場合がありますので、厳密に区別をしません。ご使用のシステムの表示に従ってください。
- 4 Photoshop CS3 以前のバージョンにおいては、「パネル」は、「パレット」と表現しますが、本試験内では、「パネル」という表記で統一しています。
- 5 Photoshop CS4 以前のバージョンにおいては、「フィルター」は、「フィルタ」と表現しますが、本試験内では、「フィルター」という表記で統一しています。

### ＜注意事項＞

- ・ “第2部実践問題”フォルダ内の“参考画像”フォルダには、完成例および参考画像が収録されています。問題文の指示に従って参照してください。
- ・ 問題文中に設定値の指定が無い場合は、完成例を参考に適切な設定値を適用してください。
- ・ 特に指示がなくとも適宜上書き保存し、データが失われないようにしてください。

### ＜フォントについて＞

- ・ 問題文や設問において指定されたフォントがシステムに搭載されていない場合は、試験監督者より指示された代替フォントを使用してください。
- ※ Photoshop CS/CS2 でご受験いただく際、インストール環境により、問題文中で指示されているフォントファミリーまたはフォントスタイルがシステムに搭載されていない場合があります。その場合は、試験監督者の指示に従って代替フォントを使用してください。

## 素材データについて

“第2部実践問題”フォルダ内には、問題中で使用する5つの素材データが収録されています。

“背景画像 .psd”



“キリン .psd”



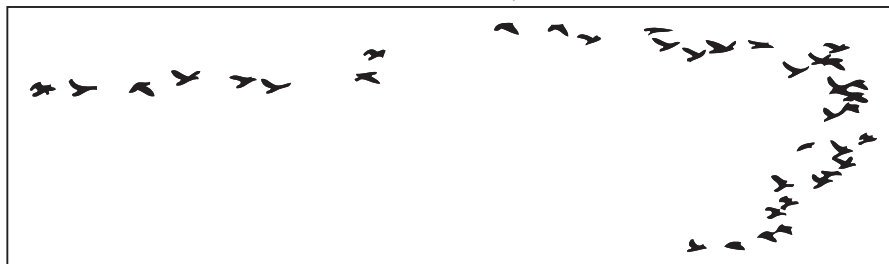
“ライオン .psd”



“レッサーパンダ .psd”



“渡り鳥 .eps”



## テーマ設定とレイヤー構成

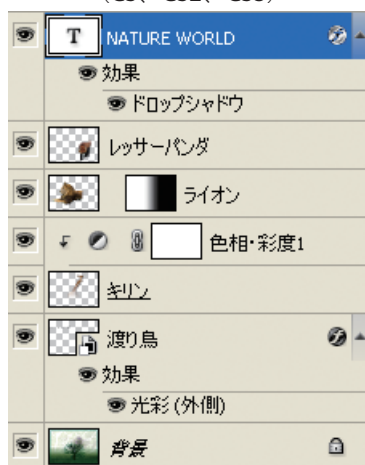
動物園と植物園が融合したレジャー施設「ネイチャーワールド」では、入場者全員にポストカードを配付することにした。＜図1：完成例＞および“参考画像”フォルダ内に収録されている参考画像ファイル、“完成例.jpg”、＜図2：完成時のレイヤー構成例＞を参考に、作業指示書に従ってポストカードを制作しなさい。

制作した作品は“スタンダード××××.psd”（××××は受験番号）という名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存しなさい。

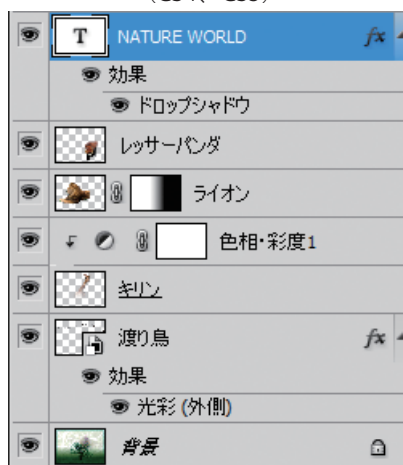
＜図1：完成例＞



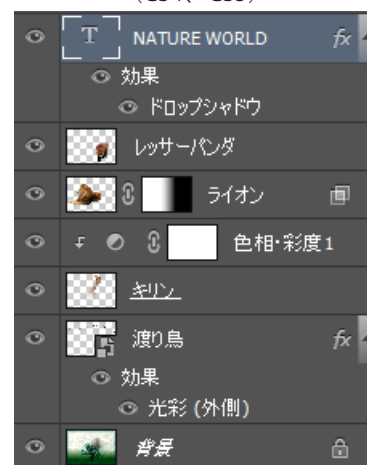
＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS、CS2、CS3)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS4、CS5)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS4、CS5)



※ CSにおいては、レイヤーサムネイルが上記レイヤー構成例とは異なります。



## 作業指示書

### 手順1 背景画像のトリミング

1. “背景画像.psd”を開き、下部の白い帯部分と「背景用画像」の文字列部分を削除するようにトリミングする。
2. ファイル“背景画像.psd”を保存する。

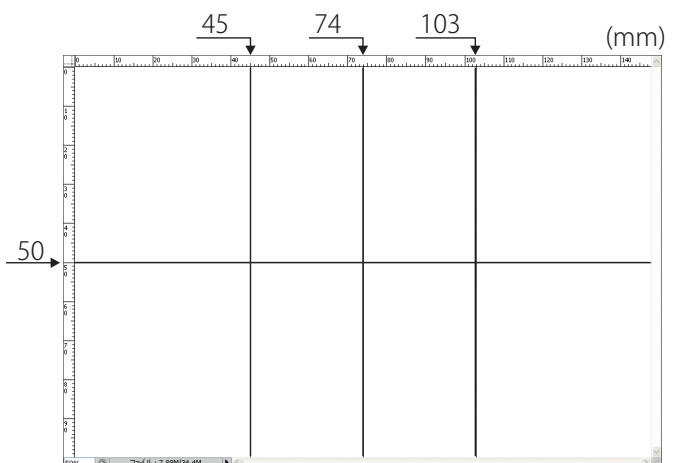
＜図3：“背景画像.psd”＞



### 手順2 ドキュメントの作成

1. 以下の設定で新規ドキュメントを作成し、“スタンダード××××.psd”（××××は受験番号）の名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存する。  
幅：148mm 高さ：100mm  
解像度：300pixel/inch  
カラーモード：CMYK カラー 8bit
2. 環境設定で定規の単位を「mm」に設定し、＜図4：ガイド設定＞を参考にガイドを作成する。

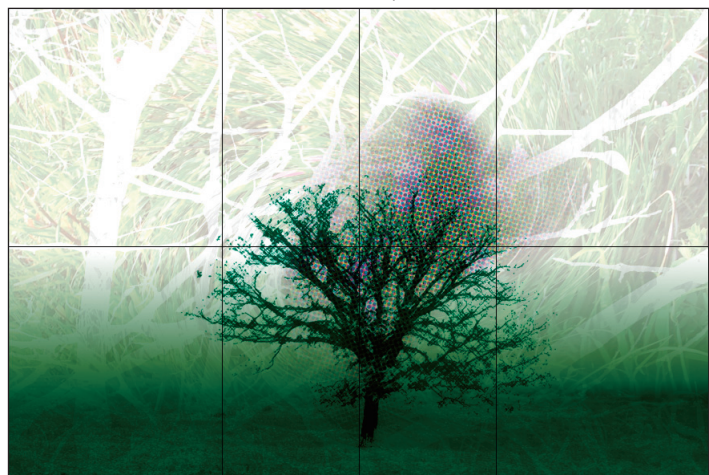
＜図4：ガイド設定＞



### 手順3 背景の画像のトリミングと配置【背景レイヤー】

1. “背景画像.psd”を開いて画像全体をコピーし、“スタンダード××××.psd”にペーストする。
2. ＜図5：“背景画像.psd”の配置＞を参考に、画像の位置を調整する。
3. 画像を統合する。

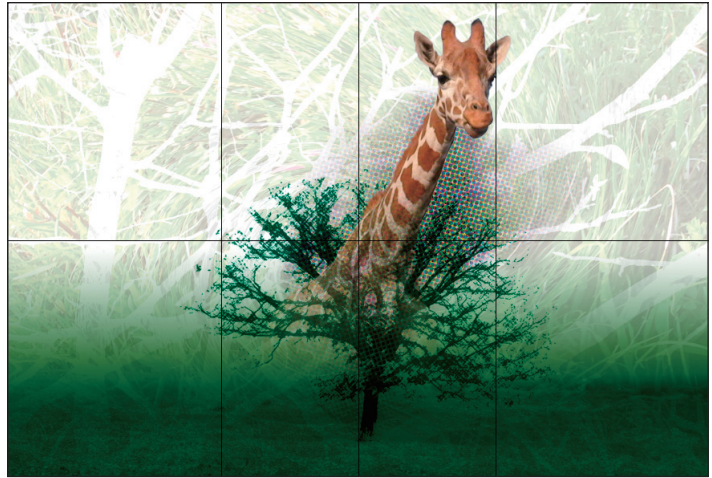
＜図5：“背景画像.psd”の配置＞



## 手順4 キリンの画像の配置と編集【レイヤー「キリン」】

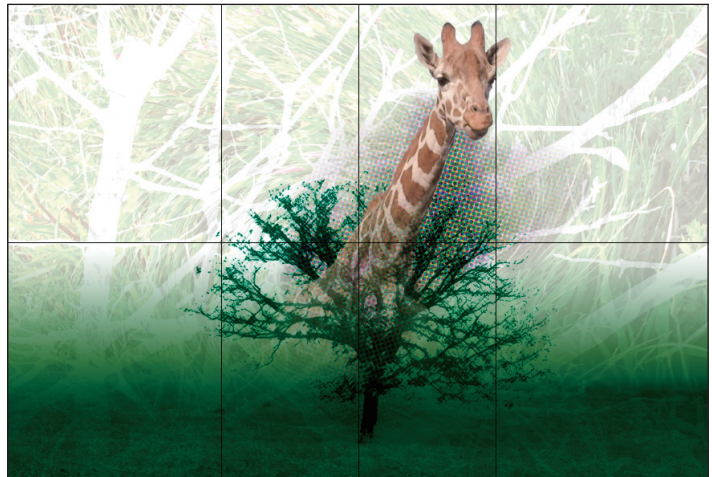
1. “キリン.psd”を開いて画像全体をコピーし、“スタンダード××××.psd”にペーストする。
2. ペーストにより作成されたレイヤーのレイヤー名を「キリン」に設定する。
3. <図6：キリンの配置>を参考に、画像の位置を調整する。

<図6：キリンの配置>



4. 調整レイヤー「色相・彩度」を作成し、以下の通り設定を行う。なお、調整レイヤーの効果は、レイヤー「キリン」にのみ適用されるようにすること。<図7：調整レイヤー「色相・彩度」を適用>および参考画像“図7.jpg”を参考に、仕上がりについては調整する。

<図7：調整レイヤー「色相・彩度」を適用>



レイヤー名：色相・彩度 1

描画モード：通常

不透明度：100%

塗り：100%

色相：0

彩度：- 30

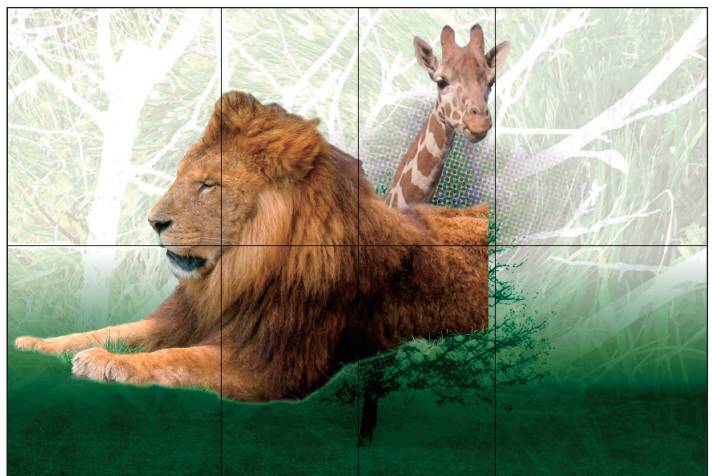
明度：+ 20

その他の設定については、<図7：調整レイヤー「色相・彩度」を適用>および参考画像“図7.jpg”と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

## 手順5 ライオンの画像の配置と編集【レイヤー「ライオン」】

1. “ライオン.psd”を開いて画像全体をコピーし、“スタンダード××××.psd”にペーストする。
2. ペーストにより作成されたレイヤーのレイヤー名を「ライオン」に設定する。
3. <図8：ライオンの配置>を参考に、画像の位置を調整する。

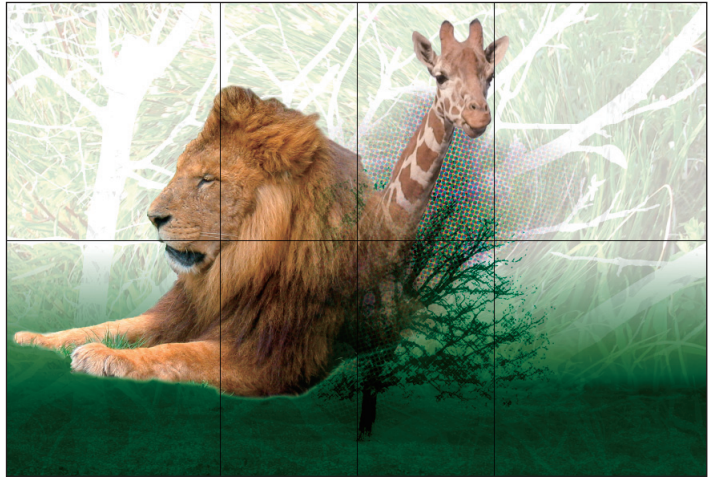
<図8：ライオンの配置>





- レイヤー「ライオン」にレイヤーマスクを追加し、＜図9：ライオンのマスク＞および参考画像“図9.jpg”を参考に、ライオンの胴体が透明に、頭部が不透明に表示されるようにマスクを作成する。

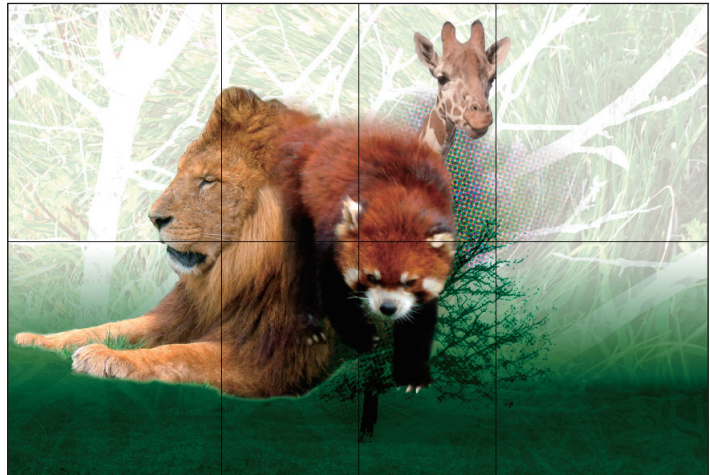
＜図9：ライオンのマスク＞



## 手順6 レッサーパンダの画像の配置と編集【レイヤー「レッサーパンダ」】

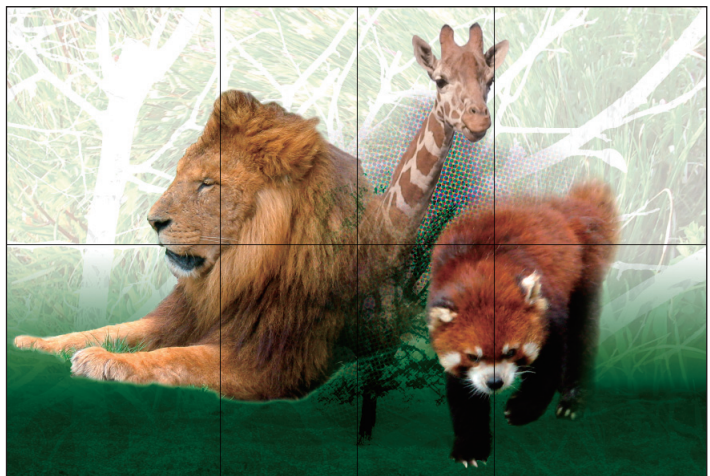
- “レッサーパンダ.psd”を開いて画像全体をコピーし、“スタンダード××××.psd”にペーストする。
- ペーストにより作成されたレイヤーのレイヤー名を「レッサーパンダ」に設定する。

＜図10：“レッサーパンダ.psd”の配置＞



- レッサーパンダの画像を左右反転し、＜図11：反転したレッサーパンダの配置＞および完成例を参考に、画像の位置を調整する。

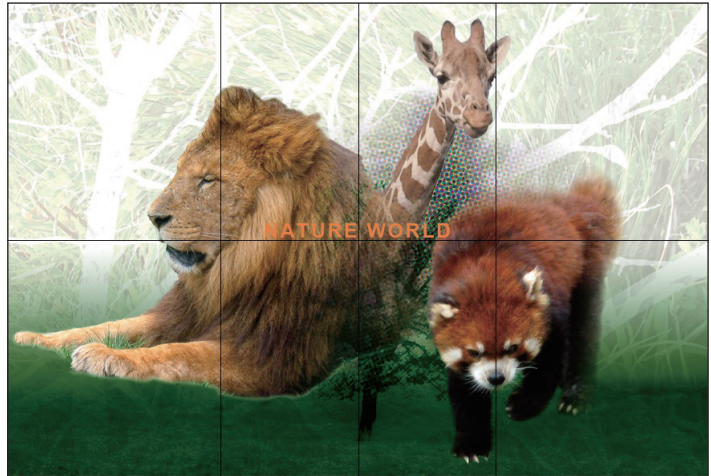
＜図11：反転したレッサーパンダの配置＞



## 手順7 文字列の作成【レイヤー「NATURE WORLD」】

1. 半角文字列「NATURE WORLD」を入力して以下の通り設定し、＜図12：半角文字列「NATURE WORLD」の配置＞および参考画像“図12.jpg”を参考に、文字列の位置を調整する。

＜図12：半角文字列「NATURE WORLD」の配置＞



フォントファミリー：Arial          フォントスタイル：Bold

フォントサイズ：12pt    テキストの中央揃え：ON

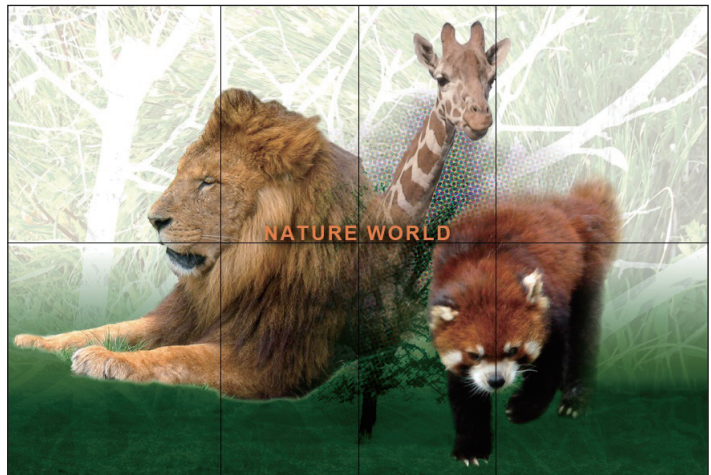
テキストカラー：C:0%   M:60%   Y:80%   K:0%

トラッキング：100（文字列全体に適用）

その他の設定については、＜図12：半角文字列「NATURE WORLD」の配置＞および参考画像“図12.jpg”と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

2. ＜図13：半角文字列「NATURE WORLD」に効果を適用＞および参考画像“図13.jpg”を参考に、テキストレイヤー「NATURE WORLD」にレイヤースタイル「ドロップシャドウ」を以下の設定で適用する。

＜図13：半角文字列「NATURE WORLD」に効果を適用＞



スタイル：ドロップシャドウ

構造          描画モード：乗算

シャドウのカラーを設定：C:0%   M:0%   Y:0%   K:100%（ブラック）

不透明度：75 %

角度：120°

距離：5 px

スプレッド：20 %

サイズ：35 px

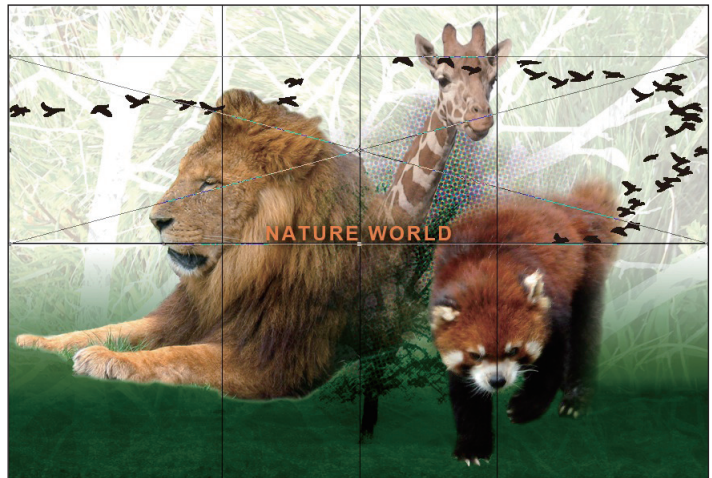
その他の設定については、＜図13：半角文字列「NATURE WORLD」に効果を適用＞および参考画像“図13.jpg”と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。



## 手順8 渡り鳥の画像の配置と編集【レイヤー「渡り鳥」】

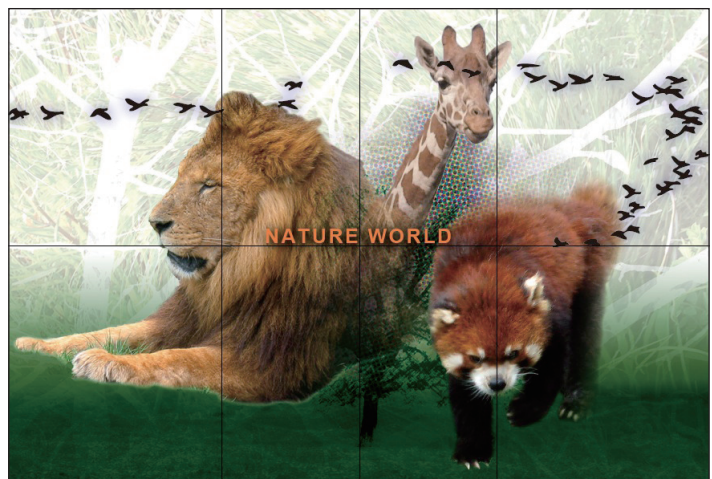
1. “渡り鳥.eps”を配置し、レイヤー「渡り鳥」を作成する。
2. <図14：“渡り鳥.eps”の配置>を参考に、画像の位置を調整し配置する。

<図14：“渡り鳥.eps”の配置>



3. <図15：レイヤースタイル「光彩（外側）」を適用>および参考画像“図15.jpg”を参考に、レイヤー「渡り鳥」にレイヤースタイル「光彩（外側）」を以下の設定で適用する。

<図15：レイヤースタイル「光彩（外側）」を適用>



スタイル：光彩（外側）

構造 描画モード：乗算

不透明度：75 %

ノイズ：0 %

光彩のカラーを設定：C:20% M:20% Y:0% K:0%

エレメント テクニック：さらにソフトに

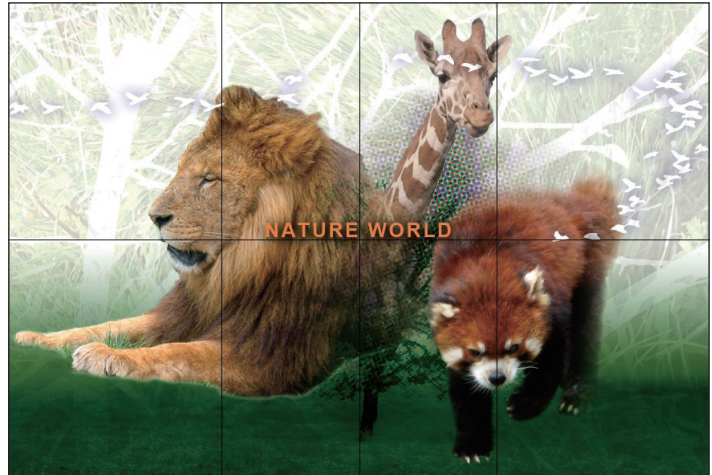
スプレッド：10 %

サイズ：40 px

その他の設定については、<図15：レイヤースタイル「光彩（外側）」を適用>および参考画像“図15.jpg”と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

4. レイヤー「渡り鳥」の描画モードを「スクリーン」に変更する。
5. レイヤーパネル上で、レイヤー「渡り鳥」を背景レイヤーの上に移動する。

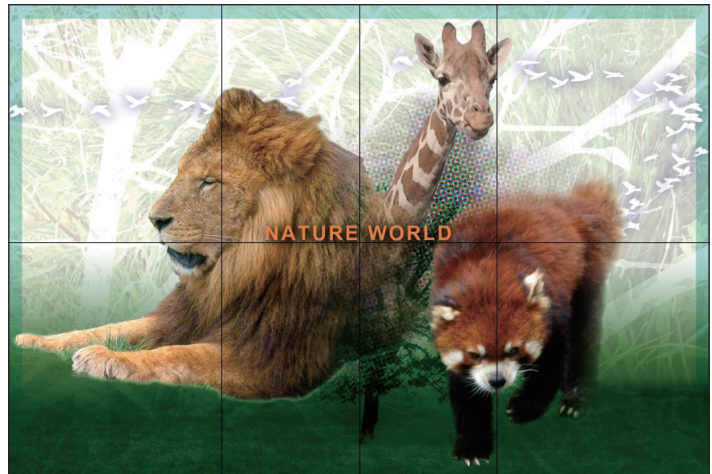
&lt;図 16：レイヤーの描画モードを設定&gt;



## 手順9 背景の縁取り【背景レイヤー】

1. <図 17：背景の縁取り>および参考画像“図 17.jpg”を参考に、背景レイヤーの周囲に幅 3mm の輪郭線を描画する。なお、輪郭線のカラーは半透明の緑色とし、背景レイヤーの画像が透けて見えるようにすること。
  - 輪郭線の色は、完成例と著しく異なるものにしないこと。
  - 輪郭線の透明度の正確さは問わないが、背景レイヤーの画像が完全に隠れないようにすること。

&lt;図 17：背景の縁取り&gt;



## 手順 10 ファイルの保存と提出

1. 制作したドキュメントを以下の設定で保存する。
  - ファイル名（Mac：名前）：スタンダード××××.psd（××××は受験番号）
  - ファイル形式（Mac：フォーマット）：Photoshop（\*.PSD, \*.PDD）
  - 保存場所：“PS スタンダード××××”フォルダ内の“第2部実践問題”フォルダ内

## 解答データの提出

試験監督者の指示に従って“PS スタンダード××××”（××××は受験番号）フォルダを提出する。





試験問題内容に関して、他人にこれを伝え、漏洩することを禁じます。

© CERTIFY Inc.2010 禁無断転載複写